

# 地水火風

牧野 恒一

年度末を迎え、ギョッとするような地震研究関連ニュースが相次いでいる。3月8日に文部科学省から「首都直下地震は震度7も…」という発表があり、30日にはその具体的な震度マップが発表された。翌31日には内閣府から南海トラフを震源とするM9クラスの巨大地震の予測が発表され、「最大34・4mの津波も…」という報道に息を飲んだ。

「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」文部科学省の「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」という特別研究が、東大地震研、京大防災研及び（独）防災科学技術研究所の三者に

「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」文部科学省の「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」という特別研究が、東大地震研、京大防災研及び（独）防災科学技術研究所の三者に

「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」文部科学省の「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」という特別研究が、東大地震研、京大防災研及び（独）防災科学技術研究所の三者に

「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」文部科学省の「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」という特別研究が、東大地震研、京大防災研及び（独）防災科学技術研究所の三者に

「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」文部科学省の「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」という特別研究が、東大地震研、京大防災研及び（独）防災科学技術研究所の三者に

「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」文部科学省の「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」という特別研究が、東大地震研、京大防災研及び（独）防災科学技術研究所の三者に

「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」文部科学省の「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」という特別研究が、東大地震研、京大防災研及び（独）防災科学技術研究所の三者に

「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」文部科学省の「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」という特別研究が、東大地震研、京大防災研及び（独）防災科学技術研究所の三者に

もあつて。…などという声もある。

本稿では、まずは、首都直下地震「震度7」について考えてみたい。

「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」文部科学省の「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」という特別研究が、東大地震研、京大防災研及び（独）防災科学技術研究所の三者に

「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」文部科学省の「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」という特別研究が、東大地震研、京大防災研及び（独）防災科学技術研究所の三者に

「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」文部科学省の「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」という特別研究が、東大地震研、京大防災研及び（独）防災科学技術研究所の三者に

「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」文部科学省の「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」という特別研究が、東大地震研、京大防災研及び（独）防災科学技術研究所の三者に

「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」文部科学省の「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」という特別研究が、東大地震研、京大防災研及び（独）防災科学技術研究所の三者に

「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」文部科学省の「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」という特別研究が、東大地震研、京大防災研及び（独）防災科学技術研究所の三者に

「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」文部科学省の「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」という特別研究が、東大地震研、京大防災研及び（独）防災科学技術研究所の三者に

所の地震計を結んだ首都圏地震観測網Meso-netを新たに作っている。従来の観測点が概ね20km間隔だったのに対し、この観測網の観測点は2〜5km間隔で、観測精度が格段に上がっている。

この観測網が整備されたところにより、3・11大地震が起き、その後多数の余震が発生したこともあって、幸か不幸か、多くの新しいデータを得ることができた。

これに加えて、これらの情報をCT（コンピュータ・トモグラフィ）により統合して、首都圏部地震の震源域と見なされている部分の深さが、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

することも行われている。最先端医療の世界では驚くほど鮮明な力ラーの立体CT画像が実用化され、手術前のシミュレーションなどに活用されているが、まさに同じような技術が、今回、首都直下地震の研究に用いられたようだ。

30日には、想定震源域が浅くなった東京湾北部地震による震度マップも公表された。断層破壊が想定震源域の中央部分（荒川河口付近）から始まる場合のほか、東端部（千葉市付近）から始まる場合と西端部（横浜市付近）から始まる場合について計算結果が示されている。このうち、荒川河口付近から断層破壊が始まる場合が最も予想

震度が大きくなり、江戸川区、江東区、大田区、川崎市、横浜市などの一部で震度7が予想されているように見える。

「見える」というのは、文部科学省も東大地震研も精度の低い震度マップしか発表しておらず、震度7が予想される市町村名は明らかにしていないためだ。今回の研究では数kmぐらいの誤差が見込まれるため市区町村名と結びつけると誤解と混乱を生じるから「首都直下地震」の起こる

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

震の震源域が、従来の想定より10km程度浅いことがわかった。震源域が浅ければ、その直上にある地上部分の揺れは大きくなり、震度7が予想される地域も拡大することになる。

「全ての首都直下地震で震度7が予想されるわけではない」M8クラスの海溝型巨大地震である次の関東地震（1923年関東地震と同タイプ。今世紀中には起こらないと考えられている。までの間に何回か発生するとされている「首都直下地震」の起こる

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」と言っても、どのプレートのどこが震源域となるかにより、震源の地理的な位置も、地震の規模や特性も異なってくる。2005年の中央防災会議「首都直下地震専門調査会」の報告書では、その種類を3種類18タイプに分けて検討している（拙稿「首都直下地震の被害想定について」本紙「地水火風」2005年3月10日号、8月10日号参照）。

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、

「首都直下地震」震度7を考えると、